討議資料

北本市議会議員　活動報告VOL.11
永井つかさ　26歳 無所属



北本市のムクドリ対策について

🌲 西口の樹木を伐採しました！

北本市は、今年の北本まつり（11月2日）を前に、西口の木に集まっていたムクドリの対策として、樹木を一部伐採しました。そのおかげでムクドリがいなくなり、駅周辺が静かに、そしてきれいになりました！
「木を切るなんて…」や、「ムクドリの住処を…」という意見もあるかもしれませんが、住みよい環境づくりには必要な判断でした。

🦅 鷹での対策、やってみましたが…

実は、ムクドリを追い払う方法として「鷹」を試しました！
天敵である猛禽類を飛ばすとムクドリはどこかに逃げる、ということがあり有効な手段として注目されています。私も議会提案したことがあり、かなり期待していたのですが…残念ながら効果はイマイチでした。

Before





おびただしい数です

After





ふんや羽根がなくなり
においもしなくなりました

ムクドリの生態について

🪨 ムクドリってどんな鳥？

ムクドリは、日本全国で見られる非常に身近な鳥で、北本市を含む関東地方でも一年中見かけることができます。夕方になると集団で塒（ねぐら）に戻る習性があり、その鳴き声やフンが生活環境に影響を与えることもありますが、都市部にも適応してたくましく生きる、自然の一部です。

ムクドリは「一夫一妻」の鳥で、3月から7月にかけて繁殖期を迎えます。この時期はつがいで巣を作り、ヒナを育てるため、比較的少数で行動します。繁殖が終了する6月末頃からは、竹林、市街地周辺の林、街路樹などに「夏ねぐら」を形成し、数百羽から時には数万羽にも及ぶ大規模な群れが見られます。しかし、この夏ねぐらは10月半ばには消失し、代わりに周辺にいくつもの「冬ねぐら」が現れます。

冬ねぐらの規模は夏ねぐらよりも小さく、数百羽から数千羽程度の群れとなるのが一般的です。ただし、冬の間に群れの規模が変動したり、ねぐら自体が消失したりすることもあります。冬ねぐらは竹林に作られることが多く、近年では一年中ねぐらが作られる地域も見られるようになっています。

また、日中の採食地では10羽程度の小さな群れから、数百羽規模の大きな群れまで、多様な集団が見られます。このように、ムクドリは季節や生態に応じて行動を変える賢い鳥です。一方で、大規模な群れが鳴き声やフンで住民生活に影響を与えることもあり、その共生方法が求められています。

参考:https://www.naro.affrc.go.jp/org/narc/chougai/wildlife/starling_v33.pdf

永井つかさのプロフィール



北本みなみ幼稚園卒園、東小学校卒業、東中学校卒業、
さいたま市立大宮北高等学校卒業、日本大学法学部卒業、
東証一部上場（現プライム市場）の建設会社にて
3年間営業職として勤務。
R5.4月の市議会議員選挙にて1478名の方にご信託をいただき、
25歳にて初当選(全国最年少、4位、新人トップ)。宅地建物取引士。
些細なことでもお気軽にご連絡下さい！

発行者:永井司　北本市中丸2-234
090-3842-2413　tsukasa.nagai.kitamoto@gmail.com
2024年12月発行

お問い合わせフォームです↑